



一人ひとりの夢・思いを大切に しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮 5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

- (一) 新任挨拶
- (二) ～(五) 平成二十八年度
各事業所事業報告
- (六) (七) 決算報告・寄付者一覧
- (八) 豆知識
カフェ紹介!
ふくしまつり会館祭り
編集後記

4月27日(水) 開所式テープカット。前面左から、蓼沼社協会長、濱野区長、市原理事長、沢田厚生委員長、清水二葉一丁目町会長。下神明駅徒歩1分。温かくおいしいパンをご用意してお待ちしております!



新任ご挨拶

桜の花が残る四月に着任したころ、これから芽吹こうと待ち構える八潮の木々がまだ冬のたたずまいを残

していましたが、今はすっかり緑に染まり、本格的な夏に向かって空高く枝を伸ばし大きく葉を広げています。その間、品川総合福祉センターでは、長らく青物横丁で地域の皆様に愛されてきた「パン工房プチレーブ」の下神明への移転(二葉一ノ六ノ一廣浦ビル一階)、本部における「楽しいバザー五月祭り」の開催など、地域の皆様のご理解とご支援に支えられながら、皆様に愛される施設をめざして取り組みを進めてまいりました。

現在、社会福祉法人を取り巻く経営環境は厳しく、資金不足、人手不足で施設の運営も難しい状況が続いています。しかし、そのような時だからこそ、区で最初の都市型複合福祉施設である当センターの理想を実現し、八潮の木々のように大きくたくましく育っていかなければならないと考えております。

そのために、職員一丸となって努力をしております。引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

常務理事・事務局長 小野 孝

平成二十七年 事業報告

【法人】

平成二十七年 法人全体で取り組んできた事業は、第一に福祉工場しながらパン工房プチレーブの移転。下神明の店舗物件において改修工事を計画、翌二十八年度初頭の開所に向け準備を進めました。

第二に前身の大井荘（昭和六十一年開設）から二十九年間事業受託してきました北品川つばさの家事業の指定管理は、平成二十七年末の期間満了に伴い、区内他法人に事業を引き継ぎました。

第三に利用者サービスの根幹をなす食事の質的向上を目指し、本部施設の給食業務委託業者を変更しました。

一方、十一月の投書から事実確認を経て、職員の利用者への暴言、不適切な言動が明らかになりました。職員教育、人材育成、サービス管理他様々な分野に大きな課題を残す年度となりました。

【かえで荘】

平成二十七年 度は、サービス全般では、ほぼ事業計画とおりの行事を行いました。また、利用者が施設で生活する中で、要介護度が改善した方が多く確認されました。各職員のケアの向上の大きな成果と考えられました。感染症関連では、疥癬の発生とインフルエンザの罹患者が数名ありましたが、対策強化により感染の拡大もなく、他ノロウイルスの感染もありませんでした。職員教育では、他法人施設との交換研修を実施すると共に外部研修にも積極的に参加し、知識と技術の習得と資格の取得を推進しサービスの向上に努めました。



バイキング食事は
楽しみの一つです。



ホーム前の大きな桜の木下で。
今年も皆さん笑顔です。

【中延特別養護老人ホーム】

介護職員の年度途中の退職や役職者の産休取得による配置転換等も行いましたが、昨年度に比べ入退所件数は十件以上少なくなり入院者数も大きく減少し、目標値には届きませんでした。四増の九十五・五%の稼働率を維持する事ができました。平均年齢も一歳以上増え九十・六歳、平均在籍期間は二年七ヶ月です。入所者の心身の状態変化に応じて、きめ細かく担当者会議を開催し、ケアの見直しを行った結果だと感じています。運営面では、次年度以降へ向け委託業者の選定を行い、建物設備関係および給食調理業者の見直しを行いました。

【八潮南特別養護老人ホーム】

今年度も、食事や排泄等の身近なかかわりとともに、日常生活の中でその本来の生活する姿に近づけることを意識し、有する能力に応じた自立した生活の支援を目指しました。要介護度改善ケアについても各職員に周知するとともに、施設の役割として取り組んでいます。また、感染症、食中毒等の予防については手指の細菌についての寒天培養を実施し、手洗いの重要性を職員間で周知、実践しました。その結果大きな感染症の発生なく入院者を抑えられました。

【八潮南グループホーム】

二十七年 度は、歌のボランティアや書道、園芸などの趣味活動を両ユニット合同で行う機会を増やしました。また、健康管理を重視し、消毒、衛生面を強化した結果、インフルエンザB型の罹患者一名以外は、感染症の発生はありませんでした。福祉サービス第三者評価では、入居者のできることや要望を確認して個別

計画に特化した支援を行っていることなどが評価されました。



レクリエーションを通し、ご利用者が自主的に楽しむ機会が増えました。

【八潮在宅サービスセンター】

八潮在宅サービスセンター、在宅介護支援センターともに、介護保険の改正に伴う品川区日常生活総合事業への円滑な調整に努め、大きな混乱なく移行ができました。

在宅サービスセンターではケアの質の向上、柔軟性のある対応を心がけ、稼働率を向上させることができました。また、建物エレベーターの

改修工事で、一時本部で定員を減らしての営業となりましたが、利用者、ご家族のご理解ご協力のもと、支援センターとの連携で、事業を継続することができました。

【大井在宅介護支援センター】

【大井第二在宅介護支援センター】

地域とつながりを深めるため「区民まつり」や「大井第二地区ふれあい盆踊り大会」へ参加をしました。また、認知症の方への理解を多くの方々に深めるとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できる環境を目指し認知症サポーター養成事業（金融機関や警察署等で講座を実施）や認知症カフェを開催しました。

【大井在宅サービスセンター】

認知症対応型通所介護では、利用者の方の手作りによる雑巾を、近隣の保育園に届ける寄付活動を行っています。認知症になられた方々が、地域で支えられるだけではなく

「いつまでも地域社会の一員として、地域につながり続ける」を基本に、個別を重視した支援を行っています。また、体力低下が心配される方には近隣を職員と共に散策するなどして、好評を得ています。



布巾を丹精こめて縫い上げて、近隣の保育園児へプレゼントしています。

【中延介護支援サービスセンター】

認知症サポーター養成講座を毎年開催していますが、昨年度は荏原第四地域センターの協力を得て、近隣の方を対

象に「サポーターになってその力を活かしませんか」をテーマに開催しました。

講座に参加して終了ではなく、そこからスタート出来るよう、始めの一步として高齢者施設での活動に繋がりました。長く続けられるようにフットローアップの研修も行いました。

【中延在宅サービスセンター】

元気に過ごせるように健康に気を配りたいと言う声が多く、体を動かす活動を多く取り入れました。理学療法士を配置し個々に合わせた運動プログラムを提供や、自然に体が動いてしまう魔法？の音楽体操が好評でした。

また、天気の良い日は遊歩道で散歩や日光浴を行いました。近所の保育園の「お散歩」と遭遇することも楽しみだっただけです。

「慣れ親しんだ地域で、昔と変わらない生活が続ける」利用者の願いを叶えるお手伝いをさせて頂きました。

【かもめ園（知的と身体）】

《かもめ園・知的》利用者の一番希望の多い「外出の増回」に取組みました。月々木「喫茶」「理美容」金曜日「買い物」「趣味」と実施日、内容人数を整理、特化することで効率化が図られ、実施回数は二倍増となりました。高齢化による身体機能の低下、障害特性を起因として「嚥下」「摂食」に困難を抱える利用者が増え、食形態、統一した介助方法の周知等、迅速な対応に留意しました。入退所者は各一名でした。

《かもめ園・身体》

利用者の高齢、重度化が進み、長期入院等状況変化が著しく、その都度、対応策を検討し、支援に努めました。

利用者の個別ニーズに応えるべく、個別支援計画を基に個別時間の活用や外出支援等の工夫をしました。

短期入所は入院等の空きベッド対応で高いニーズに応えています。十一月に起きた職員

の利用者への不適切な対応について、職員全体で支援の基本的な考え方を再確認し、意識の変革、サービスの向上に努めました。

今後も日々支援について振り返りを行いサービスの向上に努めていきます。



暑い中、園庭の芝も刈ります。
(リサイクル作業班)

【さつき】

さつきでは、昨年度より第二期の東京都工賃向上計画が策定され、引き続き工賃向上に努力し利用者へ高い工賃を支給できるように努めてきました。

主事業所での軽作業はおり

しも、七百二ある都内B型事業所のうち、百三十八番目の平均工賃額となっています。企業からの受注が上がらず厳しい状況ではありますが、フリーニング作業では四月末から始まる三徳会、平塚橋特養からの新規受注が決まり、生産活動を広げている状況です。

少しでも多く工賃還元出来るよう、また、東京都工賃向上計画における目標工賃を達成できるよう、引き続き今年度も努力してまいります。

【福祉工場しながわ】

福祉工場しながわは、毎年利用者・従業員の人数を増やし、昨年度末で三十九名、定員まであと一歩まで来しました。清掃では、民間のパークビュー

戸越や個別指導学院など清掃箇所を増やしてきました。

製陶では、品質向上が課題であり、指摘も手厳しく、改善に向けて皆で取り組んでいる所です。

パン工房プチレーブは、移転に向けて、急ピッチで改修

工事や開店に向けた引越しなどに追われる毎日でした。その中で、日光への従業員の旅行は、宴会ありカラオケありの楽しいひと時でした。

また、忘年会も事業所内で行い、思う存分料理を堪能出来、皆満足されていました。

【サンかもめ】

平成二十七年度は、《安心・安全・笑顔いっぱい》の原点に立ち返り、個々に応じた自己実現や自立を目指し事業を展開しました。

地域資源等を活用したりサイクル活動を継続し、ボランティアの受け入れ（新規三名）や広報紙を通して地域の理解を深められるように努めました。

日本財団の車両助成事業を利用したリフト車の購入・加湿器の購入他、環境整備に力を入れました。

新規利用者二名を含む契約者数は三十八名、年間平均稼働率百四・三％で推移しました。

【鮫洲なぎさの家】

鮫洲なぎさの家は、皆元気で仕事に励み、寮に帰ると食事や洗濯、入浴をして、マイペースで過ごし、翌日に備えています。外食では近隣のレストランや中華屋、東京タワーでの外食を楽しみました。カラオケ外出では、日頃の練習の成果を歌声で思う存分発揮しました。日帰り外出では、お台場に行き、自由の女神前にて記念撮影をし、その後はテレビ局で食事をしとても満足していました。また、今回は地域の防災にも参加でき、いざという時の避難場所や避難経路を確認し、貴重な体験が出来ました。

【心身障害者福祉会館】

平成二十七年度は十二月下旬から生活介護の二階居室（一室）とトイレの改修工事及び駐車場の災害用トイレ埋設工事がありました。その関係で貸室の中止や通所事業・訓練事業の変更が必要となり、利用者の皆様・地域の皆様に



災害時、駐車場に仮設トイレを設置。

はご迷惑・ご不便をおかけすることとなってしまいました。が、皆様のご理解とご協力を頂き、三月末日には無事工事が終了しました。ありがとうございました。工事期間中は事業運営にあたり様々な制約がありましたが、可能な限りサービス提供に努めさせていただきました。今後とも地域の皆様に愛され、支えられる施設であり続けたいと思っております。

【八潮中央保育園】

引越等の理由による入退園があり、月毎に在籍人数に差はありましたが、年間通して定員を満たした状態で保育を行いました。

乳児クラスは、お天気の良日は近隣の公園等に散策に出掛けたり、園庭で外気を受けながら身体を動かして遊ぶ機会を多く取り入れました。幼児クラスは、季節毎の行事の取り組みを通して活動への意識を高めたり、友達との関係作りを行いました。



園庭の遊具を新しくしました。
仲間と一緒に日光浴。暖かくて気持ちいい！

健康面では水痘、インフルエンザが流行した為、ご家族の方々に手洗いうがい等の徹底にご協力いただきました。

【地域福祉課】

平成二十七年度は、福祉教育の一環として、かもめ園利用者のご協力を得ながら、区立大崎中学校七年生を対象に「福祉を考える」の単元で、利用者のインタビューを交えた講座を実施しました。

また、法人の理念である「地域とともに」を実践すべく「五月祭り」「紅葉まつり」の開催や各種地域行事への参加、こどものつどいでは、品川区青少年地域貢献ボランティア、しながわ役立ち隊との共同企画で「しなふくなぞなぞ探検」を実施しました。

加えて、本部の「喫茶しなふく」にて地域開放事業として認知症カフェ「オレンジカフェしなふく」を実施しました。



平成27年度のご寄付

皆様から、ご寄付いただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

井上 洋子	長田 正	金子 志津子	菅澤 政夫	須藤 英雄	田原 政義	藤井 祺一朗	矢部 正美
宇野沢 祐司	小澤 紀江	笹川 隆	菅野 幸江	滝澤 みよ子	人見 保	水野谷 育男	山下 隆
大八木 安近	勝野 翼	島崎 妙子	鈴木 敏夫	田坂 豊子	日比 ミリ子	村田 勉	横井 美智子

団体

イトーヨーカドー大井町店	品川区重症心身障害(児)者を守る会	(社福)福栄会	都営中延6丁目アパート自治会	八潮地域センターフェスティバル実行委員会	八潮わかさ荘自治会
魚栄	品川区知的障害者育成会	勝健館須藤道場	中六さくら会	八潮地区防災協議会	八潮わかば幼稚園
荏原第四地区民生委員協議会	(社福)さくら会	昭和大学旗が岡益踊り大会実行委員会	八潮1号棟自治会	八潮二号棟自治会	ゆたか在宅福祉サービス
大井坂下町会	(社福)品川区社会福祉協議会	青少年対策八潮地区委員会	八潮学園	八潮西自治会	
大井第一地区民生委員会協議会	(社福)品川総合福祉センターかもめ国家会(身体)	地域生け花教室一同	八潮五八・五九号棟自治会	八潮パトリア会	
株品川都市整備公社	(社福)品川総合福祉センターかもめ国家会(知的)	ディ・エス・スタッフ(株)代表取締役 入澤理沙	八潮自治会連合会	八潮四号棟自治会	
品川区視覚障害者福祉協議会	(社福)春光福祉会	東京都荏原歯科医師会	八潮地域センター所長 横山莉美子	八潮六十号棟自治会	

貸借対照表

平成28年03月31日現在

社会福祉法人 品川総合福祉センター

法人会計

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	1,474,838,611	1,444,732,005	60,106,606	流動負債	334,832,999	257,777,940	77,055,059
現金預金	922,320,195	886,641,564	35,678,631	事業未払金	195,378,686	114,556,854	80,821,832
事業未収金	387,559,035	382,342,529	5,216,506	その他の未払金		16,579	△16,579
未収金		275,807	△275,807	預り金	19,055,149	11,924,804	7,140,345
商品・製品	3,541,680	4,733,971	△1,192,291	職員預り金	10,173,184	11,053,723	△880,539
立替金	43,668,241	15,230,519	28,437,722	拠点区分間借入金	110,215,980	120,215,980	△10,000,000
前払金	451,500	419,836	31,664	固定負債	309,962,302	311,515,848	△1,553,546
拠点区分間貸付金	110,215,980	120,215,980	△10,000,000	設備資金借入金	145,490,000	158,490,000	△10,010,000
仮払金	7,081,900	4,682,400	2,399,500	退職給付引当金	161,482,302	153,025,848	8,456,454
その他の流動資産		190,000	△190,000	負債の部合計	644,795,301	569,289,788	75,505,513
固定資産	2,076,119,897	2,127,861,096	△51,741,199	純 資 産 の 部			
(基本財産)	1,213,866,404	1,282,417,000	△68,550,596	基本金	230,000,000	230,000,000	
建物	1,212,866,404	1,281,417,000	△68,550,596	国庫補助金等特別積立金	779,981,797	844,037,490	△64,055,693
定期預金	1,000,000	1,000,000		その他の積立金	311,975,655	286,596,320	25,379,335
(その他の固定資産)	862,253,493	845,444,096	16,809,397	移行時特別積立金		24,786,655	△24,786,655
車両運搬具	6,117,227	8,004,605	△1,887,378	人件費積立金	32,000,000	22,000,000	10,000,000
器具及び備品	135,404,729	154,561,153	△19,156,424	修繕積立金	15,000,000	18,000,000	△3,000,000
投資有価証券	351,489,550	348,471,550	3,018,000	備品等購入積立金	9,520,000	18,520,000	△9,000,000
退職給付引当資産	161,482,302	153,025,848	8,456,454	工賃変動積立金	600,000	600,000	
移行時特別積立資産		24,786,655	△24,786,655	設備等整備積立金	6,500,000	6,500,000	
人件費積立資産	32,000,000	22,000,000	10,000,000	設備更新積立金	128,864,225	76,704,225	52,160,000
修繕積立資産	15,000,000	18,000,000	△3,000,000	施設整備積立金	25,715,440	25,715,440	
備品等購入積立資産	9,520,000	18,520,000	△9,000,000	施設運営費積立金	83,776,000	83,776,000	
工賃変動積立資産	600,000	600,000		研修基金積立金	10,000,000	10,000,000	
設備等整備積立資産	6,500,000	6,500,000		次期繰越活動増減差額	1,584,205,745	1,612,677,103	△28,464,358
設備更新積立資産	128,864,225	76,704,225	52,160,000	(うち当期活動増減差額)	△28,464,358		△28,464,358
施設整備積立資産	14,275,460	14,275,460		純資産の部合計	2,906,163,207	2,973,303,913	△67,140,706
資産の部合計	3,550,958,508	3,572,593,101	8,364,807	負債及び純資産の部合計	3,550,958,508	3,542,593,701	8,364,807

事業活動計算書

(自) 平成 27 年 04 月 01 日 (至) 平成 28 年 03 月 31 日

社会福祉法人 品川総合福祉センター

法人合計

(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	1,749,217,752		1,749,217,752
	保育事業収益	184,329,093		184,329,093
	就労支援事業収益	190,079,296		190,079,296
	障害福祉サービス等事業収益	1,066,453,782		1,066,453,782
	公益事業収益	46,714,366		46,714,366
	経常経費寄附金収益	3,515,776		3,515,776
	その他の収益	1,666,568		1,666,568
	サービス活動収益計 (1)	3,241,976,633		3,241,976,633
	費用			
サービス活動増減の部	人件費	2,004,769,114		2,004,769,114
	事業費	395,965,178		395,965,178
	事務費	612,874,033		612,874,033
	就労支援事業費用	190,485,649		190,485,649
	利用者負担軽減額	454,085		454,085
	減価償却費	132,518,007		132,518,007
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△66,128,860		△66,128,860
	サービス活動費用計 (2)	3,270,937,206		3,270,937,206
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△28,960,573		△28,960,573
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	431,216		431,216
	投資有価証券評価益	3,018,000		3,018,000
	その他のサービス活動外収益	41,987,501		41,987,501
	サービス活動外収益計 (4)	45,436,717		45,436,717
	費用			
	その他のサービス活動外費用	2,170,550		2,170,550
	サービス活動外費用計 (5)	2,170,550		2,170,550
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	43,266,167		43,266,167
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	14,305,594		14,305,594
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,100,000		2,100,000
	固定資産受贈額	3		3
	拠点区分間繰入金収益	14,170,000		14,170,000
	拠点区分間固定資産移管収益	3		3
	その他の特別収益	36,000,000		36,000,000
	特別収益計 (8)	52,270,006		52,270,006
	費用			
	固定資産売却損・処分損	131,786		131,786
	国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)	△26,833		△26,833
繰越活動増減差額の部	国庫補助金等特別積立金積立額	2,100,000		2,100,000
	拠点区分間繰入金費用	14,170,000		14,170,000
	拠点区分間固定資産移管費用	3		3
	その他の特別損失	53,285,657		53,285,657
	特別費用計 (9)	69,660,613		69,660,613
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	△17,390,607		△17,390,607
	当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	△3,085,013		△3,085,013
	前期繰越活動増減差額 (12)	1,612,670,103		1,612,670,103
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	1,609,585,090		1,609,585,090
	その他の積立金取崩額 (15)	36,780,655		36,780,655
繰越活動増減差額の部	その他の積立金積立額 (16)	62,160,000		62,160,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13+14+15-16)	1,584,205,745		1,584,205,745

夏を元気に！夏バテ対策

七月に入るとすぐに梅雨明けです。梅雨が明けると一気に気温も上がり、夏本番になります。今回は夏を元気に乗り切る四つの夏バテ対策をご紹介します。

《一》水分補給にはミネラルウォーターに天然の炭酸が入っている飲料水が良いそうです。炭酸が疲労の原因である水素イオンを体外へ追い出してくれる上、ミネラル分も豊富に含まれているので夏の体にぴったりでです。

《二》暑い外と涼しい室内を頻繁に出入りしていると体がその温度についていけず、自律神経のバランスを崩してしまいます。設定温度は5℃以内を目安に除湿設定にするだけでも、快適さがアップします。

《三》早起きをして朝の涼し

豆知識

いうちに自分に合った適度な運動をしてみてもいいですか。その後シャワーを浴びて汗を流し、汗とともにストレスも流しましょう。普段より生活時間を一時間早め、規則正しい生活を送りましょう。

《四》暑いと「そば」

等あつさりしたものが多くありますが、これだけでは栄養不足です。汗をかくことが多い夏場はビタミンやミネラルの消耗が激しいです。胃に負担がかからず消化のよいタンパク質(卵肉、魚、牛乳など)、ビタミン(野菜や果物など)、ミネラル(牛乳や海藻など)をバランスよく、少しずつでも色々な種類の食品をとりましょう。

近年猛暑が続く、熱中症にかかる方が非常に多いです。日頃から体調管理に努め、夏場を乗り切りましょう。



現在、本部一階ロビーにて、日々の生活の中でほっとする癒しの空間と居場所作りとして、「カフェ」という形で利用者支援をしています。

第一日曜日は、傾聴ボランティアアクトローバーによる「クローバーカフェ」。話を聴いてもらいながらの心地よいカフェです。第二日曜日、ボランティアによる喫茶室「サンデーマスター」は今年八年目。いつもとは違うランチが温かく食べられます。第一金曜日は、喫茶しなっぺの一角で、ボランティアによる「コカリナ演奏」。コカリナとバイオリン等の三重奏。生演奏を聞きながら、しなっぺでコーヒータイム。今年度は「カフェ」紹介をしていきます！乞うご期待！

ふくしまつり・会館祭りご案内

☆会館祭り
日時…七月三日(日)
場所…品川区立心身障害者福祉会館(旗の台五十二二)
模擬店、イベント、ゲームなど企画盛り沢山。
☆ふくしまつり
日時…九月十七日(土)
場所…品川区立中小企業センター(西品川一二十八一三)
各種販売、バザー、模擬店、アトラクションなど。
☆第三十二回楽しいバザー
五月祭り報告

第三十二回楽しいバザー五月祭りを五月二十二日(日)に開催いたしました。当日の収益の一部を被災地義援金として、被災地へお送りいたします。バザー収益金…八十一万九千三百四十九円。

あ・と・が・き
様々なことの進化に驚き、気持ちは奮闘するも身体が追いつかず。冷汗 苦笑。(齊藤)